

化学工業日報

# 樹脂成形品に参入

イス

## 化学品商社構造改革へ川下展開

イーグルスミコーポレーションは、付加価値分野に参入することで事業構造の改革を進める。昨年7月に中国で塗料用樹脂販売の合併会社を設立したのに続き、11月末には樹脂原料や成形品を取り扱う化学品商社・日本ユニポリマー(東京都千代田区)に資本参加し関連子会社とした。主力の基礎化学品の取り扱いから付加価値の高い事業分野にシフトするのが狙い。

1月から始動した新5カ年中期経営計画で、川下展開と海外展開を主軸に据え、自社の海外ネットワークを生かし国内外で川中・川下市場の開拓に乗り出す。

日本ユニポリマーは、ウレタン原料およびフィルム、シート、チューブなど成形品の販売を手掛ける化学品商社。そのほか特殊樹脂やゴム成形品なども取り扱う。イーグルスミは昨年、日本ユニ

ポリマーの株式29・8%を取得した。業務提携によって原料分野から成形品市場に参入するのが目的。とくに医療機器用のポリウレタンチューブやホースに強みを持ち、ライフサイエンス分野を足掛かりに多分野で市場開拓を狙う。またイーグルスミが手掛けるシリコンやフェノール類などウレタン以外の樹脂原料でもシナジーを生み出していく。

海外事業でも川下展開を図る。イーグルスミが持つ中国、韓国の海外拠点を活用し、まずは需要が見込めるフィルム、シートなどで実績化を目指す方針。

同社は石化業界の再編を背景に、基礎化学品を中心とした事業構造から高付加価値分野へのシフトを目的に投資を続けてきた。昨年設立の中国合併会社「フミアモイ」では塗料用樹脂の取り扱いを開始した。こうしてグローバルに川下展開を進め、5カ年計画の最終20年度で海外子会社が占める売上高比率を10%台から25%にまで引き上げる。